

現状と課題 P4~17

基本的な視点 P21

基本理念 P22

基本目標 P22

基本施策 P27~83

子どもを健やかに生み育てるためには、保健・医療・福祉の連携による母親及び乳幼児等の健康の確保・増進を図ることが求められています。

特にこれから親となる若い世代が心身ともに健全に成長するための環境づくりと、男女が共に子育てを担うことへの意識啓発を図ることが求められています。

子育て中の家庭、特に多くの女性が、子育てに対する4つの負担感（経済的負担、精神的負担、時間的拘束の負担、肉体的負担）により、不安やストレスを感じることが多くなっています。

子育てと仕事の両立を志向する家庭の多くが、「子育てに対する職場理解」や「保育施設」を求めています。

すべての子育て家庭が安心して子育てできる社会に向けて、子育て家庭を地域社会全体で支えあう市民意識の醸成と子育て支援システムが求められています。

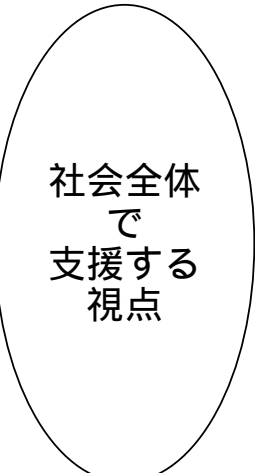
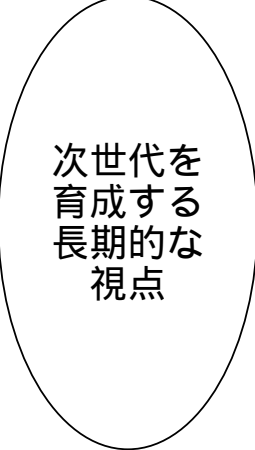
少子化をはじめとする現代社会の様々な変化により、子どもたちが「ゆとり」のない環境に置かれるとともに、子どもが本来持つべき自主性や社会性が育まれにくくなっていることが指摘されています。

子どもが調和のとれた一人の人間として、将来に向け自己を確立するには、子どもが成長する場として欠かすことのできない家庭や学校、地域社会が連携するとともに、挫折を含めた体験を成長段階に応じて豊かに積み重ねていくことが必要です。

家庭、学校、地域社会の関係が希薄化し、モラルや社会規範が低下したことにより、非行、いじめ、ひきこもり、不登校や少年犯罪の凶悪化・低年齢化など、子どもをめぐる様々な問題が深刻化してきています。

次代を担う子どもを守り、大人と同じ人間としてその利益を最大限に尊重されるよう配慮することが求められています。

子どもを安心して生み育てるための、子どもと子育て家庭に配慮した住環境の充実とともに、安全で快適に暮らせるまちづくりが求められています。

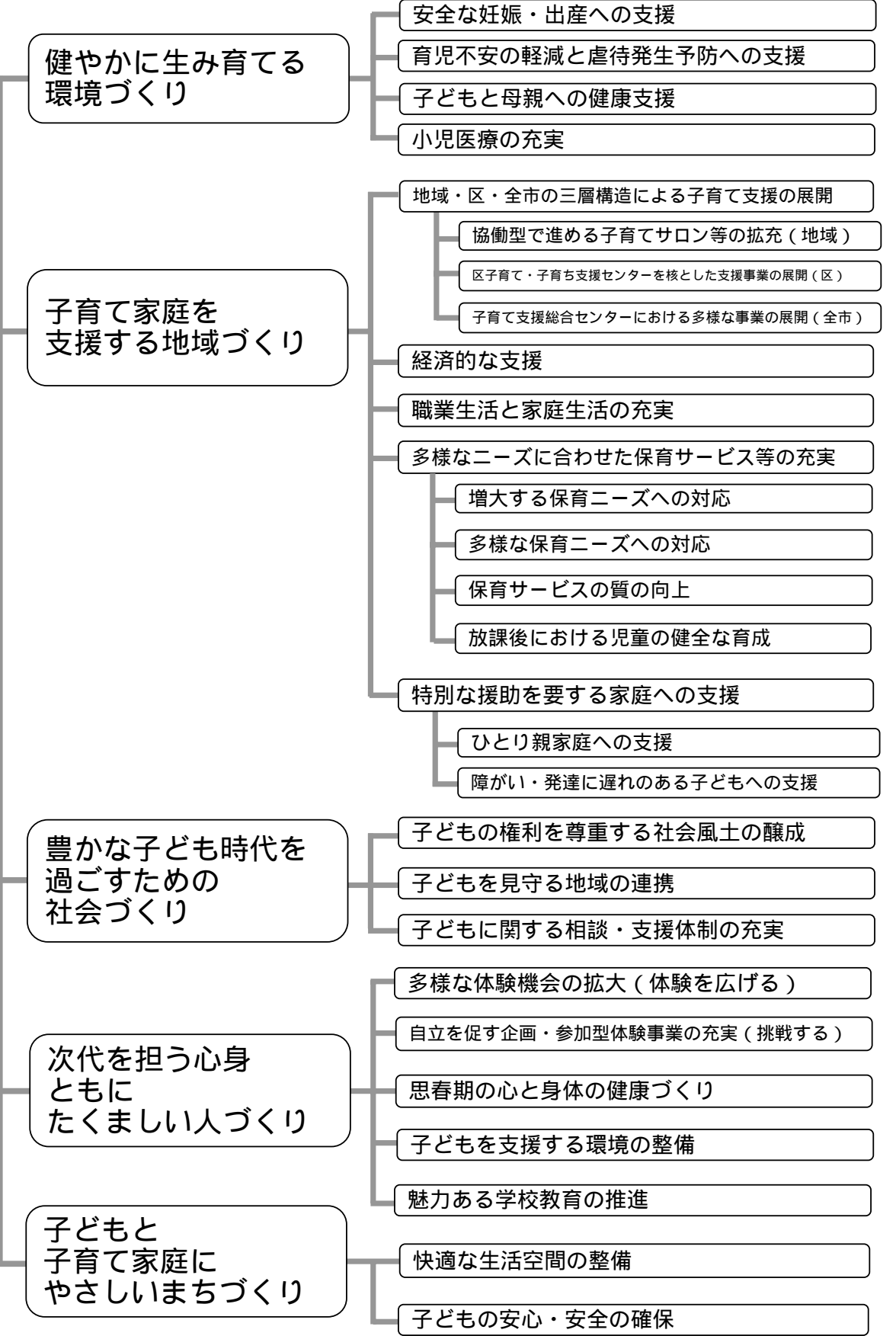


「子どもの輝きがすべての市民を結ぶまち」

急速な少子化の進行並びに家庭及び地域を取りまく環境に変化等が生じ、あらためて地域の人と人とのふれあいを大切にすることが求められています。

明日を担う子どもたちが、こころ豊かで健やかに育つことは、将来の社会が発展するために欠かせないものであり、そのためにも子どもたちを社会全体で支えていくことが求められております。

札幌市では、地域の人びとの温かいまなざしと支えのなかで、子どもたちの成長していく輝きが、世代を越えたすべての市民を結び、未来を照らすまちを目指します。



「基本目標」「基本施策」の名称及び体系順については、変更する場合があります。